

施工説明書

シャワートイレ PB シリーズ

〈オートフラッシュ C（シャワートイレ分岐付タイプ）対応型含む〉  
CW-PB11 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

お客さまへ  
本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ～ 18:00 土・日・祝日 9:00 ～ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにお任せください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。

特に**節電機能**は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

施工手順

1フルオート便器洗浄ユニットの取付け  
(フルオート便器洗浄付の場合)

↓

2分岐金具（止水栓）の取付け

↓

3本体着脱プレートの取付け

↓

4シャワートイレ本体の取付け

↓

5本体給水ホースの取付け  
(分岐金具側、オートフラッシュ C 側)

↓

6電源の接続

↓

7リモコンの位置決め・取付け  
(リモコン付の場合のみ)

↓

8試運転

快適機能とは  
お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。

●便座・温水の温度\* ●脱臭機能 ●節電機能  
●便座ヒーターオート OFF

\*：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。  
※機種によっては、一部機能がない場合があります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- コンセントは AC100V、定格消費電力（350W）に適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。
- すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- オートフラッシュ C と組み合わせで使用される場合は、コンセントが2口必要です。
- 必ずアースターミナルは、**D 種接地工事**に準じた工事を行ってください。アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水の掛からない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。
- 必ず漏電遮断器を設置してください。(漏電保護プラグ無の場合)  
シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ず定格消費電力を考慮した最適な漏電遮断器（高速・高感度型〔感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以内〕）を設置してください。  
※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

便器の確認

1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログなどにてご確認ください。











2. 本体給水ホース（同梱）の使用可能な条件  
同梱の本体給水ホースは 1000mm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 800mm 未満が適切です。  
※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-35C（1350）、CWA-35C（1500）、CWA-35C（2000）を手配してください。

準備工具

- モンキーレンチ（26mm 以上調節可のもの）またはスパン類（23 ～ 26mm）
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- バイブカッター（サプライ管を切断する場合）

使用する水は？

- 給水は必ず水道水に接続してください。  
中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 給水圧力は 0.06MPa {0.6kgf/cm<sup>2</sup>} ～ 0.75MPa {7.5kgf/cm<sup>2</sup>} が必要です。  
0.06MPa {0.6kgf/cm<sup>2</sup>} 以下の場合は、お買求めの取扱店にご相談ください。
- 給水の接続には、**3 種類**あります。  
給水方式に合った分岐金具（止水栓）を別途手配してください。

	タンク用止水栓の場合		フラッシュバルブの場合		専用給水管の場合
	分岐金具（止水部無）	分岐栓（止水部付）	止水栓分岐タイプ	ユニオン分岐タイプ	シャワートイレ専用止水栓
袋ナット接続用	 品番：CF-008-1	 品番：CF-005-1	 品番：K-011A-1～013A-1、016A-1	 品番：A-8735（定流量弁あり） A-8736（定流量弁なし）	 品番：CF-93-1
	 品番：CF-007B	 品番：CF-006	 品番：K-011A～013A、016A	 品番：A-8735（定流量弁あり）JA-1879 A-8736（定流量弁なし）JA-1879	 品番：CF-92

※ 1 フラッシュバルブアダプターは複数ありますので、フラッシュバルブの形式を確認して、正しい品番を手配してください。  
※ 2 フラッシュバルブアダプター、シャワートイレ専用止水栓の場合、接続銅管の取付方法が分岐金具と異なります。ご注意ください。  
※ 3 フラッシュバルブの芯間距離が 120mm の場合。120mm 以外の長さの場合はカタログを参照ください。

安全のために守ってください！

警告

… 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意

… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

！  
指示実行

施工説明書に従い、正しく施工する。  
※ 感電・火災・ケガの原因になります。  
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

！  
分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。  
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

！  
ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。  
※ 感電の恐れがあります。

！  
指示実行

電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。  
※ コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。

！  
水かけ禁止

本体や電源プラグに水や洗剤を掛けない。  
※ 感電・火災の原因になります。

！  
禁止

● AC100V 以外では使用しない。  
● タコ足配線はしない。  
※ 感電・火災の原因になります。

！  
指示実行

電源プラグは根元まで十分差し込む。  
※ 感電・火災の恐れがあります。

！  
禁止

電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。  
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。

！  
禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。  
※ 感電・火災の原因になります。

！  
アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。  
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。  
※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。

！  
水場使用禁止

バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。  
※ 感電・火災の原因になります。

！  
禁止

水道水以外に接続しない。  
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

！  
指示実行

漏電遮断器を確実に取り付ける。  
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。  
※ 漏電遮断器がない場合は、電気工事店にご相談ください。

注意

！  
指示実行

製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。  
※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。

！  
指示実行

● ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。  
● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。  
● ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。  
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

！  
指示実行

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。  
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

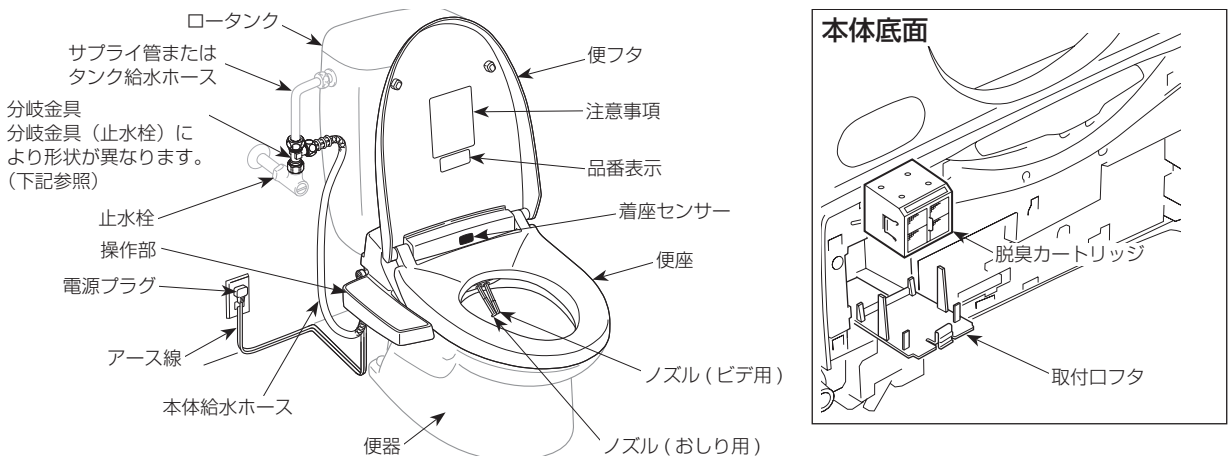
！  
指示実行

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。  
※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。  
※ 凍結破損により火災の原因になります。

！  
指示実行

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。  
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

各部のなまえ



シャワートイレ専用止水栓へ接続の場合

シャワートイレ専用止水栓 (袋ナット用)

分岐金具（クリップ用）へ接続の場合

クリップ

フラッシュバルブアダプターへ接続の場合

アダプター (袋ナット用)

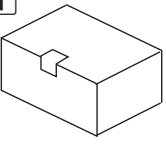
袋ナット

同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。

フルオート便器洗浄付の場合


1



フルオート便器洗浄ユニット

フルオート便器洗浄付の場合


3



本体着脱プレート 上面ボルト

フルオート便器洗浄付の場合

3



バックシンセット  
バックシン (背: 厚さ 2mm)  
スリッパ ワッシャー ※ 1  
バックシン (黒: 厚さ 4mm) ※ 1

※ 1：既存のサプライ管を切断した場合には使用します。

フルオート便器洗浄ユニット

4 5

シャワートイレ本体

※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

袋ナット接続用

シャワートイレ本体

バックシン

クリップ

本体給水ホース (全長 1000mm)

※ いずれかの本体給水ホースが 1 本入っています。

クリップ接続用  
(品番末尾「-TU」)

クリップ

クリップ

クリップ

本体給水ホース (全長 1350mm)

7 発電式リモコンの場合

リモコン本体

ホルダー

※ ホルダーは本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。  
※ リモコンの施工方法については、リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

木ねじ

プラスチックアンカー

盗難防止ねじセット (品番：A-10273)  
盗難防止ねじ (M2 × L 6)  
ナット (M2 2 種)  
ワッシャー (2 × 6 × 0.4)

別売品

固定ビス (H20-648)

- ※ 上面施工以外の機種で、本体着脱プレートを本体に固定して、本体スライド着脱機能を無効にできます。便座昇降装置おしりフト (CWA-40) には同梱されています。

-3-

-4-



# 1 フルオート便器洗浄ユニットの取付け(フルオート便器洗浄付の場合)

1. フルオート便器洗浄ユニットに同梱されている専用の施工説明書に従って、フルオート便器洗浄ユニットを取り付ける。

# 2 分岐金具（止水栓）の取付け

フラッシュバルブアダプターの取付け

止水栓分岐タイプ

ユニオン分岐タイプ

取付図

フラッシュバルブアダプター  
フラッシュバルブ  
樹脂リング

フラッシュバルブアダプター  
オートフラッシュC

シャワートイレ専用止水栓の取付け

取付図

シャワートイレ専用止水栓  
給水管  
シールテープ

シャワートイレ専用止水栓を給水管に取り付ける。  
(1) シャワートイレ専用止水栓のねじ部に、シールテープなどのシール材を巻きます。  
(2) 壁面に取り出した給水管にシャワートイレ専用止水栓を取り付けます。

## 分岐金具・分岐栓の取付け（タンク用止水栓に接続する場合）【注意 2-1 参照】

1. 止水栓を閉める。  
便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっばいに閉め、給水を止めます。  
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
2. 給水の確認を行う。  
止水栓と便器（タンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。

■ 止水栓と便器（タンク）がサブライ管で接続されている場合

サブライ管  
止水栓

■ 止水栓と便器（タンク）が給水ホースで接続されている場合

● 給水ホースを袋ナットで固定

止水栓  
給水ホース  
袋ナット

● 給水ホースをクリップで固定

止水栓  
給水ホース  
クリップ

【注意 2-1】  
● 付属の分岐金具または別売の CF-008-1 または CF-005-1（止水栓付）を使用する。  
※ 上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

## ■ 止水栓と便器（タンク）がサブライ管で接続されている場合

サブライ管  
止水栓

取付図  
バックン（青：厚さ 2mm）  
タンク側袋ナット  
サブライ管  
分岐金具  
バックン（黒：厚さ 2mm）  
止水栓

止水栓側袋ナット  
割リング  
スリップワッシャー  
バックン（黒：厚さ 4mm）  
差込しろ

【注意 2-2 参照】

3. サブライ管を外す。  
【注意 2-3 参照】  
タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサブライ管を外します。  
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

サブライ管  
袋ナット  
緩める  
緩める

4. 分岐金具を取り付ける。  
バックン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。  
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})

分岐金具  
止水栓

5. サブライ管を切断する。  
【注意 2-4 参照】  
(1) サブライ管の端（ツバのない側）を現物合わせて、分岐金具の差込しろとして 10 ～ 15mm 残るように印を付けます。

(2) パイプカッターを使ってサブライ管を切断します。  
10 ～ 15mm 差込みしろとして残す  
パイプカッター

6. サブライ管を取り付ける。  
【注意 2-2 参照】 【注意 2-5 参照】  
【注意 2-6 参照】 【注意 2-7 参照】  
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})

② タンク側袋ナットを手で締め付け、工具で増し締めする  
ツバ部  
バックン（青：厚さ 2mm）  
ボールタップ  
① 分岐金具側袋ナットを手で締め付ける  
袋ナット  
割リング  
スリップワッシャー  
バックン（黒：厚さ 4mm）  
差込しろ  
Oリング  
サブライ管  
分岐金具  
キズが付かないよう注意  
③ 分岐金具を固定しながら締め付ける

【注意 2-2】  
● 各部品向きと順序を間違えない。  
※ 間違えると漏水します。  
● 既存のサブライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（別売品）を使用する。  
※ 漏水の原因になります。  
● サブライ管の接続は確実に行う。  
※ 漏水の原因になります。

【注意 2-3】  
● 止水栓やサブライ管に無理な力を掛けない。  
※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 2-4】  
● サブライ管のツバ部は絶対に切断しない。  
● サブライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。  
● 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。  
※ 漏水の原因になります。  
※ 固定できない場合はタンク給水ホース（別売品）をご使用ください。

【注意 2-5】  
● Oリングにキズを付けないように注意する。  
※ Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

【注意 2-6】  
● 当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配（品番：26-10-2）のストレーナー付バックンに交換する。  
このとき同梱の青バックン（厚さ 2mm）は取り付けない。

【注意 2-7】  
● ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。  
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

## ■ 止水栓と便器（タンク）が給水ホース（袋ナット）で接続されている場合

● 給水ホースを袋ナットで固定

止水栓  
給水ホース  
袋ナット

取付図  
バックン（黒：厚さ 2mm）  
分岐金具  
バックン（青：厚さ 2mm）  
給水ホース

3. 給水ホースを外す。  
(1) 止水栓側の袋ナットを緩めます。  
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

4. 分岐金具を取り付ける。  
バックン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。  
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})

5. 給水ホースを取り付ける。【注意 2-6 参照】  
(1) バックン（青：厚さ 2mm）を入れて給水ホースを分岐金具に取り付けます。  
(2) 分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーレンチを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナなどでしっかり締め付けます。

## ■ 止水栓と便器（タンク）が給水ホース（クリップ）で接続されている場合

● 給水ホースをクリップで固定

止水栓  
給水ホース  
クリップ

取付図  
バックン（黒：厚さ 2mm）  
分岐金具  
ストレーナー  
クリップリング  
給水ホース

3. 給水ホースと給水ソケットを外す。  
【参考 2-1 参照】  
止水栓からクリップカバーとクリップを外してホースを抜きます。  
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

■ クリップ式の場合

クリップ  
給水ホース

■ クリップリング式の場合

クリップリング  
開く

4. 分岐金具を取り付ける。  
バックン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。  
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})

5. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。  
【注意 2-5 参照】 【注意 2-8 参照】  
(1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。  
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})  
(2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップリングで固定します。  
取付後にクリップリングを回し、確実にハマっていることを確認してください。  
また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

【参考 2-1】  
● クリップを外す際は、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように矢印方向に押すようにして外してください。

マイナスドライバー  
押す  
押す

【注意 2-8】  
● クリップは確実ににはめ込む。  
※ きちんとはまっていないと漏水します。

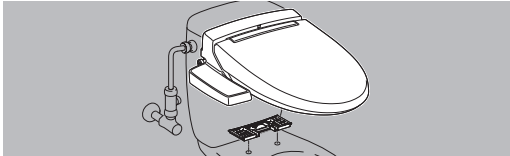
正しい付け方  
悪い付け方  
クリップ  
クリップ

● クリップとカバーが別体の場合、クリップカバーは下記のようにはめ込む。  
① クリップカバーをクリップに引っ掛けます。  
クリップ  
クリップカバー  
② クリップカバーの後側を押し上げ気味に差し込みます。



### 3 本体着脱プレートの取付け

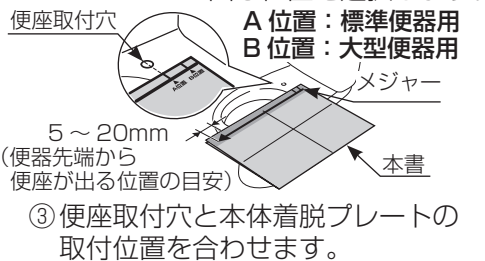
既存の便座を取り外す場合は、【補足 1】をご覧ください。



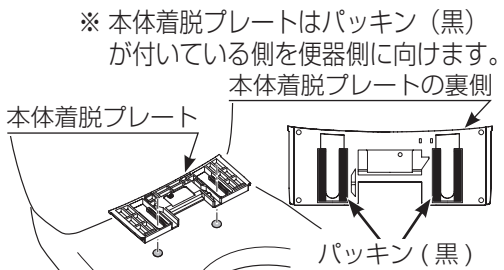
#### 1. 本体着脱プレートの取付位置を確認する。

※ 本説明書端のメジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、本体着脱プレートの取付位置を決定します。

- ① 便器が標準サイズの場合 **A 位置** を目安に、大型サイズの場合 **B 位置** を目安に便座取付穴に合わせます。
- ② 矢印が便器先端から目安として 5～20mm 出る位置を選択します。

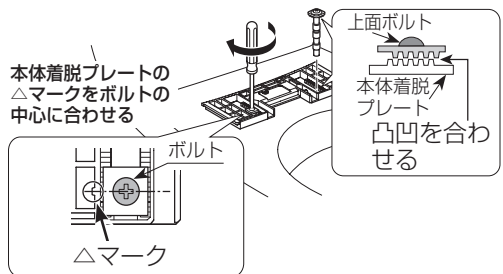


- ③ 便座取付穴と本体着脱プレートの取付位置を合わせます。



#### 2. 本体着脱プレートを固定する。

- 【注意 3-1 参照】
- ① 上面ボルト 2 本を穴に差し込みます。  
※ ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。
  - ② ボルトが浮かないように、上から押しながら、回らなくなるまでしっかりと締め付けます。この後さらに 1～2 回転程度回し、確実に締まっていることを確認してください。  
(締付トルク 1.0～3.0N・m {10～30kgf・cm})  
※ インパクトドライバーは使用しないでください。



#### 【注意 3-1】

- ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。  
※ 締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

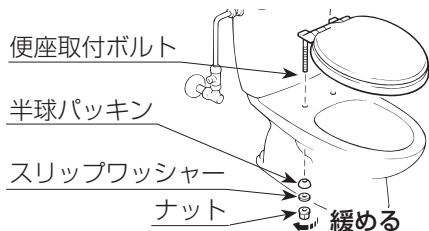
### 補足 1

#### 既存の便座の取外し

【参考 3-1 参照】

##### ■ボルト式の場合

1. 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
2. 便座を持ち上げて便座取付ボルトごとに取り外す。



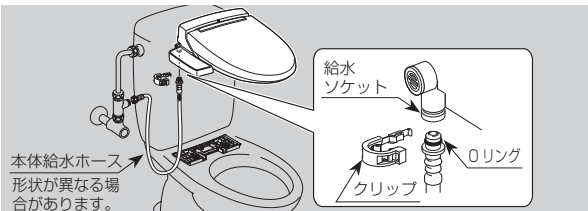
##### ■さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。
2. さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。
3. さや 2 本を便器から抜き取る。

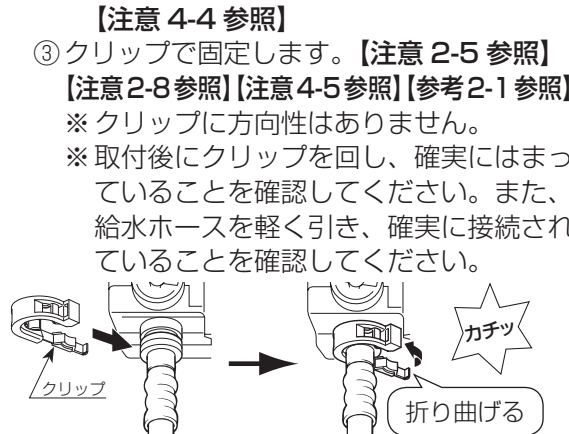


### 4 シャワートイレ本体の取付け

#### 1. 本体給水ホースを本体側に取り付ける。

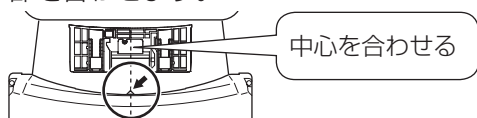


- ① 保護カバーを外します。
- ② 本体給水ホースを差し込みます。  
※ 給水ソケットは回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。  
【注意 4-4 参照】
- ③ クリップで固定します。【注意 2-5 参照】  
【注意 2-8 参照】  
【注意 4-5 参照】  
【参考 2-1 参照】  
※ クリップに方向性はありません。  
※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



#### 2. シャワートイレ本体を取り付ける。

- ① 本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
- ② 本体着脱プレートの中心と本体背面部の凸部を合わせます。



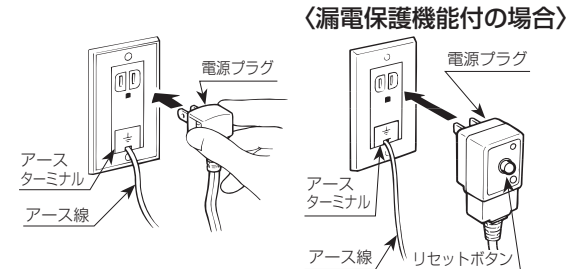
- ③ 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。  
※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。  
※ 本体を前後左右に軽く揺らして、確実に固定されていることを確認してください。  
※ 本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。【3-2-②】  
※ 本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはありません。



### 6 電源の接続

#### 1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

- 【注意 6-1 参照】
- ① アース線を接続します。
  - ② 電源プラグを差し込みます。  
※ 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

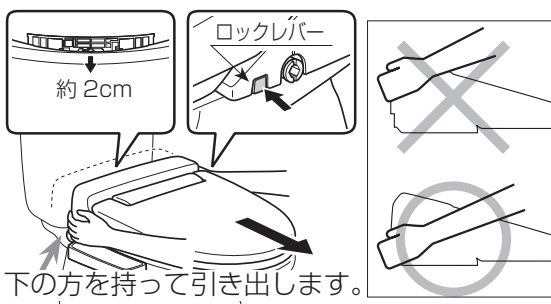


#### 2. 電源が入っていることを確認する。

- 操作部の【温水】と【便座】の表示ランプが点灯していることを確認してください。
- 確認後は温水タンクの空だき防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。  
(電源投入後 40 秒以内を目安にしてください。)

#### ■ 本体の外し方

- ① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、約 2cm スライドさせます。
- ② ロックレバーから指を離して、さらにスライドさせます。



#### 【注意 4-1】

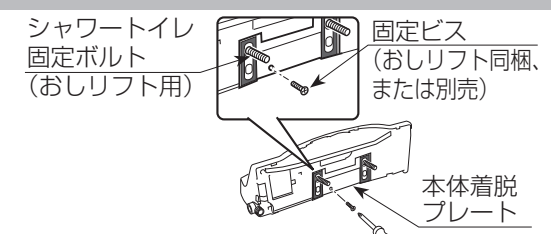
- 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

#### 【注意 4-2】

- 電源プラグに衝撃を掛けたり、便器内に水没させないように注意する。

#### 【注意 4-3】

- 便座昇降装置おしリフト (CWA-40) とセットする場合、おしリフト説明書セットに同梱の固定ビスを本体着脱プレートのビス穴に取り付ける。



#### 【注意 4-4】

- 本体給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。  
※ 破損して漏水する恐れがあります。

#### 【注意 4-5】

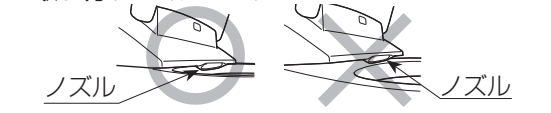
- クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。  
※ 漏水の原因になります。

#### 【参考 3-1】

- 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
- 取り外した便座は、引越しのなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

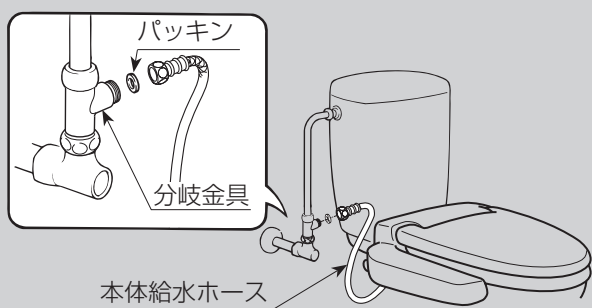
#### 【参考 4-1】

- ノズルが、便器のリム部に乗り上げないように取り付けてください。

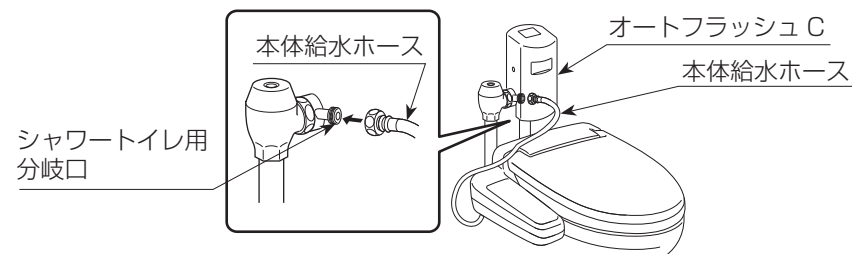


### 5 本体給水ホースの取付け (分岐金具側、オートフラッシュ C 側)

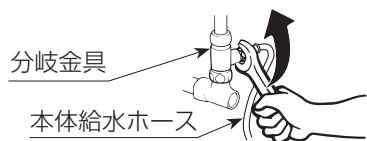
#### 取付図



#### オートフラッシュ C の場合

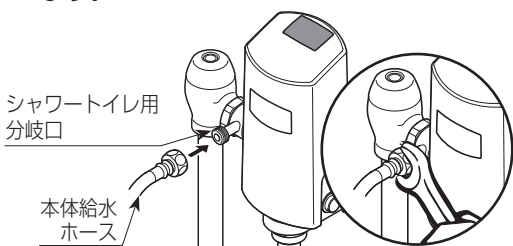


- ① 分岐金具と給水ホースの間にパッキンをはさみ、給水ホース側の袋ナットを初めに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めします。



#### 【オートフラッシュ C の場合】

- ① シャワートイレ用分岐口を手前に回転させます。
- ② 本体給水ホースとオートフラッシュ C のシャワートイレ用分岐口の間にパッキン (青: 厚さ 2mm) を挟みます。
- ③ 本体給水ホース側の袋ナットを初めに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めします。



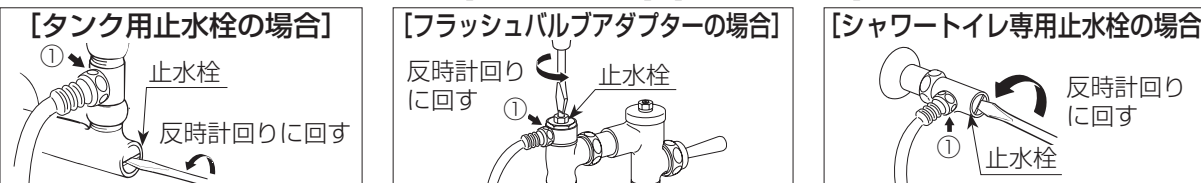
### 7 リモコンの位置決め・取付け (リモコン付の場合のみ)

リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。

### 8 試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

#### ● 水漏れ箇所はありませんか？

#### 1. 止水栓を元の位置まで開く。【注意 8-1 参照】【注意 8-4 参照】

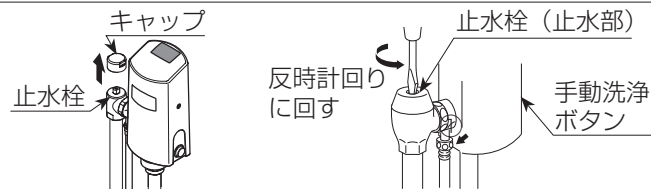


#### 【オートフラッシュ C の場合】


- ※ 機種によっては、止水部にキャップが付いているものもあります。

#### 【キャップ付の場合】

キャップを外した後、ドライバーで止水または通水調節を行ってください。







	チェック欄	確認内容	
漏水確認		漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。)	
	<input type="checkbox"/>	① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	<input type="checkbox"/>	② 本体と給水ホースとの接続部	

## ●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 8-2 参照】【注意 8-3 参照】【注意 8-4 参照】


- 電源が入っていることを確認する。
- 着座センサーを白っぽい紙や布で覆う。



確認機能	チェック欄	確認内容	
おしり ノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約 1 ～ 2 分掛かる掛かることがあります。 ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり SHOWER 
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと水が止まりますか？	
ビデ ノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約 1 ～ 2 分掛かることがあります。 ① 【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	ビデ BIDET 
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと、水が止まりますか？	

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

- 約 15 分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄	確認内容	
おしり ノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	おしり SHOWER 
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？	
暖房便座	<input type="checkbox"/>	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？	便座

- 着座センサーを覆っている紙や布を外す。

## ●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

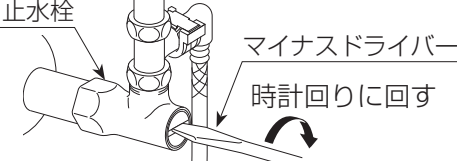
- 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
- 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2608）を手配して貼り付ける。  
※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

<b>【注意 8-1】</b> ● 止水栓を開けたままストレーナーを外さない。 ※ ストレーナー部から漏水します。	<b>【注意 8-2】</b> ● インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。	<b>【注意 8-3】</b> ● 着座センサーがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。 ※ 脱臭スイッチはありません。自動でファンが作動します。
---	--	--

-13-

### お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

- 「**止水栓**」を開めて、給水を止める。  
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。  
※ 寒冷地用吸水式は、室内の水抜栓を操作します。

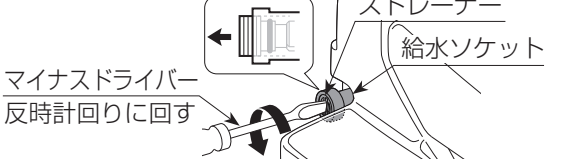


- ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。  
あらかじめ水受け（約 1L 以上入るもの）を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。  
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



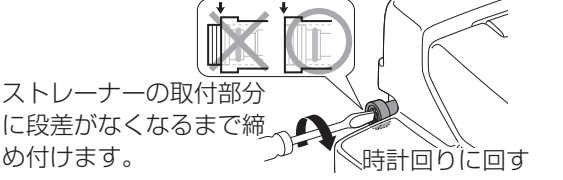
- 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。  
マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。
- 本体給水ホースから水を抜く。  
【注意 9-1 参照】  
① ストレーナーの下に洗面器などを置きます。

- 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全にに取り除きます。



- シャワートイレ本体を便器から取り外します。  
(「[4]シャワートイレ本体の取付け手順 2」の逆の手順)

- 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。
- 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



- シャワートイレ本体を便器に組み付けます。
- 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く。  
※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。
- 約 5 秒後、【止】を押す。
- 電源プラグをコンセントから抜く。

#### 流水音（擬音装置）の設定

流水音の設定を変更することができます。

#### ●オート擬音の設定変更

オート擬音 ON 時は、便座に座ると流水音が流れ、便座から立ち上がると停止します。(出荷時、オート擬音の設定は ON になっています。)

- 【温水】と【便座】を同じタイミングで 6 秒以上押した後、【流水音】を押す。  
※ セット完了時、すべての表示ランプ（点検ランプは除く）が、下記の回数だけ瞬点滅します。

オート擬音	表示ランプの点滅
OFF	1 回
ON	2 回

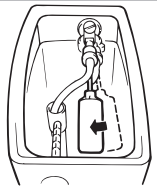
- 設定したら【止】を 1 回押して完了する。

※ 設定中に【止】を押したり、1 分間何もなかった場合は、通常状態に戻り、設定ができなくなります。

-15-

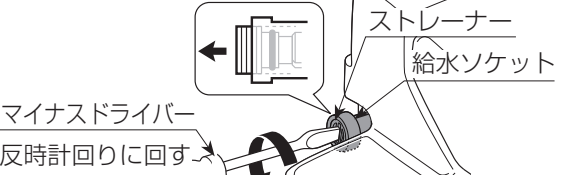
#### 【注意 8-4】

- タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。  
1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。  
2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。



#### 水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

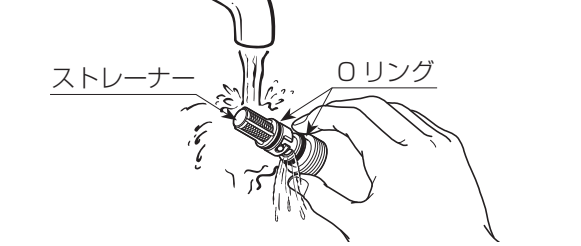
- 「**止水栓**」を開めて、給水を止める。  
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
- 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。  
【注意 9-1 参照】  
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



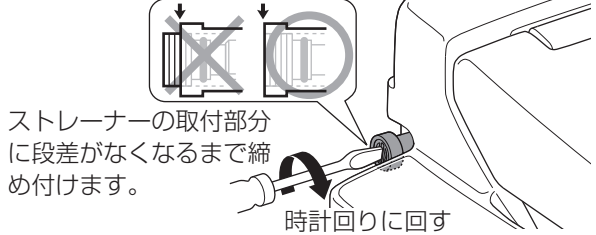
- ※ 工具が届かない場合は、本体を外してください。
- ※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

**【注意】**  
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

- 「**ストレーナー**」や「**O リング**」に付いているゴミを水洗いして完全にに取り除く。



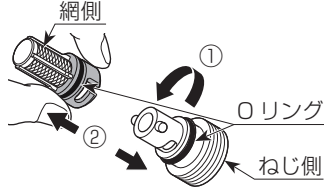
- 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付け。



**【取付時の注意】**  
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

- 「**止水栓**」を元の位置まで開く。
- ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

- ストレーナーの汚れがひどい場合はストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
- ※ O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
- ※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
- ※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



#### 【注意 9-1】

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を開める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかりと開める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。  
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

#### 施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。  
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。  
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。  
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客様に必ずお伝えください。  
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

-14-

#### フルオート便器洗浄の設定変更について

フルオート便器洗浄の設定を、シャワートイレ本体で変更することができます。

#### ■ 便器洗浄開始時間の変更

便座から立ち上がってから 10 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を切り替えることができます。切替方法は下記の通りです。

- ① 【便座】と【温水】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【洗浄 弱】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押します。  
同じ操作をするたびに、開始時間が 10 秒（お買い上げ時）→ 15 秒→ 2 秒→ 6 秒→ 10 秒…の順に切り替わります。  
（セット完了時、すべての表示ランプ（点検ランプは除く）が下記の回数だけ瞬点滅します。）

設定時間	表示ランプの点滅
2 秒、6 秒、15 秒	1 回
10 秒	2 回

- ② 設定したら【止】を押して完了します。

#### ■ フルオート便器洗浄の入 / 切

便座から立ち上がってしばらくすると、自動的に便器洗浄を開始します。このフルオート便器洗浄を行わないようにすることができます。切替方法は下記の通りです。

- ① 【便座】と【温水】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【おしり】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押します。  
（セット完了時、すべての表示ランプ（点検ランプは除く）が一瞬点滅します。）  
※ 元に戻す場合も同じ方法で行います。
- ② 設定したら【止】を押して完了します。

#### 併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し便器洗浄する恐れがあります。このような場合は、シャワートイレ本体の洗浄信号（カスタムコード）を変更してください。  
※ オートフラッシュ C の洗浄信号も変更する必要があります。  
変更方法は、オートフラッシュ C の工説明書をご参照ください。

#### 【注意】

- 着座センサーが検知している状態ではセットできません。必ず座っていない状態でセットしてください。（試運転ラベルが貼ってある場合は、はがしてセットしてください。）

#### ■ 大洗浄・小洗浄の判定時間の変更

座ってから 50 秒以上は大洗浄、50 秒未満は小洗浄を行います。この判定時間を変更することができます。変更方法は下記の通りです。

- ① 【便座】と【温水】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【温水】と【洗浄 弱】を同じタイミングで 2 秒以上押します。  
同じ操作をするたびに、判定時間が 50 秒（お買い上げ時）→ 120 秒→ 150 秒→ 50 秒…の順に切り替わります。  
（セット完了時、すべての表示ランプ（点検ランプは除く）が下記の回数だけ瞬点滅します。）

設定時間	表示ランプの点滅
120 秒、150 秒	1 回
50 秒	2 回

- ② 設定したら【止】を押して完了します。

#### ■ 大洗浄・大小洗浄の切替え

フルオート便器洗浄の大洗浄・大小洗浄を切り替えることができます。切替方法は下記の通りです。お買い上げ時は、表の通りに設定されています。

- ① 【便座】と【温水】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【洗浄 強】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押します。  
（セット完了時、すべての表示ランプ（点検ランプは除く）が一瞬点滅します。）  
※ 元に戻す場合も同じ方法で行います。
- ② 設定したら【止】を押して完了します。  
※ 洗浄水量はオートフラッシュ C で変更可能です。変更方法はオートフラッシュ C の施工説明書をご覧ください。

本体	お買い上げ時の設定
オートフラッシュ C 連動タイプ	大洗浄のみ
上記以外	大小洗浄

- ① 【便座】と【温水】を同じタイミングで 6 秒以上押したあと、【便座】と【節電】を同じタイミングで 2 秒以上押します。  
※ この操作をするたびに、信号が 1→2→3→0 …の順に切り替わり、洗浄強さの表示ランプが下記の回数だけ一瞬点滅します。

洗浄信号	洗浄強さランプ	表示方法
信号 0	強・中・弱 すべて	2 回点滅
信号 1	弱	2 回点滅
信号 2	中	2 回点滅
信号 3	強	2 回点滅

- ※ お買い上げ時の設定は、「信号 0」になっています。

- ② 設定したら【止】を押して完了します。  
※ 設定中に【止】を押したり、1 分間何もなかった場合は、通常状態に戻り、設定ができなくなります。

-16-

PCW-1306B(20051)